

静岡大学院工学研究科の准教授。循環型社会実現のための技術や社会システムを研究する。微生物を利用した使い捨ての生ごみ処理機を開発した。ごみの減量を目指すNPO法人「エコライフはままつ」の副理事長。秋田県出身。60歳。

—ごみ処理を研究する理由は。

「ごみ処理の改善は土壌や大気、水質汚染など環境問題の解決につながる。中でも一般廃棄物の3割は生ごみで、臭気や焼却コストなど多くの課題があり、排出源の家庭で処理することが大切だと考えている」

生ごみ処理機開発で
はましん産学連携大賞を受賞した

まつだ さとし
松田 智 さん

(中区葵東)



この人

—環境問題に取り組む難しきとは。

「かかるコストや環境負荷を考えればやらない方がいいリサイクルやシステムもある。『環境にいい』かどうかは、目先の結果ではなく将来や全体を見て判断しなくてはならない」

—研究に対する信念は。

「狭い領域で研究を続けることで絶対的な自信や自分の尺度を持たないこと。企業や地域住民と積極的に関わり、いろいろな視点を持つようにしている」

—今後はどんな研究をしたいか。

「技術やエネルギーなどの環境問題を考えを時に経済は切り離せない。技術系の研究者にとって、経済と関わることが、経済と環境の両面から社会の問題に切り込んでいきたい」

◇
国内外を飛び回る日々だが週に1、2度のバドミントンが趣味。